

FIJI フィジー共和国

海と大自然に囲まれた癒しの地

フィジーの主島ビテレブ島は、オーストラリアから北東に約3100km、ニュージーランドの北2100kmほどに位置しています。最も近い太平洋島しょ国のトンガは770km離れた東に、西のパヌアツは1100km離れています。330余りの美しい島々から成り、土地の総面積は四国とほぼ同じくらいです。

透明度が高く、珊瑚礁が広がる海、真っ白な砂浜、そして鮮やかな植物に囲まれたビーチは、リゾート派から行動派のバックパッカーまで、あらゆる旅行者が満足できる場所です。フィジーは、豊かな自然だけでなく、メラネシア、ポリネシア、インドの文化が融合した多民族国家でもあります。この独特の文化的な雰囲気は、フィジーならではの魅力を感じさせてくれます。



初級モデルコース 短期間でもフィジーを満喫したい!

- 1日目
- AM ● 直行便でナンディ空港到着
ホテルに荷物を預けたのち、デナラウの街を散策してからランチへ
 - PM ● デナラウビーチでゆったり過ごす
ホテルの伝統舞踊付きディナーショーでダンスと夕食を満喫しよう
- 2日目
- AM ● ナンディを出発し、フィジービレッジへ向かう
フィジービレッジではカヴァの儀式や伝統的なダンス(メケショー)などを見学できる。ランチでは、フィジーの伝統的な料理を堪能しよう
 - PM ● ナンディに戻って、市内観光へ
ヒンドゥー寺院であるスリ・シヴァ・スバラマニヤ・スワミ寺院では色鮮やかな彫刻や壁画を見ることができ、ナンディ市場、ハンディクラフトマーケットなどを訪問して、お土産を探すのも楽しい
デナラウの港よりサンセットクルーズに出発し、船上でディナーや日没、星空を満喫しよう
- 3日目
- AM ● ホテルをチェックアウト後、空港近くのチョコレート工場へ立ち寄り、チョコレートづくりの見学・体験をしよう(事前予約制)
 - PM ● ナンディ空港ではカフェでのんびりしたり、最後のお土産を購入して、日本へ向けて出発



中級モデルコース 足を延ばして離島にも訪問

- 1日目
- AM ● 直行便でナンディ空港到着
空港近くの「サンベト泥温泉」に立ち寄りリフレッシュ、その後ランチを楽しもう
 - PM ● フィジー屈指のリゾートエリアであるデナラウでスパやショッピングを満喫
ディナーの後は、翌日の離島訪問に向けて早めに休もう
- 2日目～5日目
- All day ● デナラウの港からアクセスしやすいママヌザ諸島やヤサワ諸島へ出発!
島リゾートに滞在しつつ、ゆったりした時間やアクティビティを楽しもう
 - ママヌザ諸島 ● デナラウから日帰り可能な離島リゾート
・美しいサンゴ礁・熱帯魚に囲まれながらシュノーケリング
・洋上バーではトロピカルなカクテルを楽しもう
・絶景のオーシャンビューのリゾートでのんびり過ごす
 - ヤサワ諸島 ● 手つかずの自然が残るフィジーの秘境
・透明度が高い海でダイビング、マンタに会えることも!
・石灰石でできた洞窟、サワイラウ・ケープを探索
・日程に余裕があればクルーズツアーに参加してみたいか?
- 6日目
- AM ● デナラウに戻り、カフェで一休み
 - PM ● ナンディ空港でお土産などショッピングを楽しんだら、日本へ向けて出発



Q フィジーの中でも手つかずの自然が残る、秘境と言われる「ヤサワ諸島」の「Yasawa」はフィジー語でどういう意味でしょうか?
A 答えは p.26 に!

コラム 1 現地語の挨拶
簡単な現地語を覚えて、現地の人とコミュニケーションをとってみよう!

こんにちは ▶ Bula (ブラ) さようなら ▶ Moce (モセ)
ありがとう ▶ Vinaka (ヴィナカ)

コラム 2 フィジーとインドの関係
フィジーにはインド系フィジー人が40%弱住んでいます。フィジーを植民地として統治していたイギリスが、1879年にさとうきびのプランテーションの労働者としてインド人を入植させたことに始まります。1970年にフィジーがイギリスから独立した後にもフィジーに留まったインド人労働者は、農業や商業活動を営み、フィジーの経済発展に大きく貢献しました。この影響で現在でもフィジーの街角にはインド料理店が多くあります。

オンラインコンテンツを楽しもう
フィジーについての詳しい情報は、フィジー政府観光局のウェブサイト(英語)をご覧ください!フィジーでの楽しいアクティビティなどをチェックできます。

フィジーを写真でチェック
フィジー政府観光局のインスタグラム(英語)では様々な写真を見ることができます。